

今思う事

C氏(ギャンブル依存症 50代 男性)

私のギャンブル歴は、30年以上前の高校生の時に、学校の友達とパチンコに行ったのが始まりでした。その当時は、親から貰ったお小遣いの範囲で、やっていたに過ぎません。しかし、大学に入りバイトを始めると、使う金額が大きくなり、月10万円のバイト代は、ほとんどパチンコに消えていきました。その上、大学2年の時に、競馬を始めてしまいました。パチンコ、競馬にのめり込んだ、どうしようもない学生時代でした。

社会人になってからは、次第にパチンコよりは、競馬が主となっていきました。最初のうちは、勝ったり負けたりを繰り返していましたが、ある時に大勝ちすることがありました。気が大きくなったのか、それから競馬に使う金額が増えていきました。

しかし、思うようにはいかず、負けが込んでしまいました。気が付けば、消費者金融やクレジットカードのローンでお金を借りてまで、馬券を買っていました。当然ですが、次第に返済ができなくなってしまい、遂には妻の知る所となり、貯金で返済してもらいました。それを、三回も繰り返してしまい、もうどうしようもなくなって、昨年3月より、札幌太田病院に通うこととなりました。

通院は、月1回。先生の診察の他、STEP-Gのカウンセリングで、様々なギャンブルのデメリットや危険性を学び、ミニGAで、同じ境遇の人々の色々な体験談を聞くとともに、自分の経験や、これからどのように依存症に向き合っていくかなど、お話してきました。また、院外のGAにも通ってみました。

通院を開始してから約1年半が過ぎ、幸いなことに、これ迄ギャンブルをすることはありませんでした。衝動にかられ、手を出してしまいそうなことは、やはりありました。しかしながら、その都度、妻の顔が頭に浮かび、思いとどまることができました。

人は、決して一人だけで生きてはいけません。どんな人も、周りの人々がいてくれるから、生きていけるのだと思います。こんな私でも心配してくれている家族を悲しませない為にも、もうギャンブルは、決してやらないことを改めて強く思っております。